

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	生活関連道整備事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	98,850	99,272		99,200			99,200	350
財 源 内 訳	国	59,000	47,500	47,500			47,500	▲ 11,500
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	39,850	51,772		51,700			51,700	11,850

事業概要	道路の新設や排水路改修及び舗装等の道路整備を行う。	今年度 見直し 事項	
事業目的	市民生活に最も身近な社会基盤である道路を整備し、市民生活環境の向上を図る。		
現状と背景	近年、道路の老朽化や宅地化に伴う側溝断面不足による改修工事及び自治会等からの舗装・道路側溝の要望箇所が増加傾向にある。事業の必要性、緊急性を考慮しながら実施する。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	下水道課
事業名	下水道整備附帯事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,000	1,000		1,000			1,000	
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,000	1,000		1,000			1,000

事業概要	下水道の整備に伴う工事で、老朽化した側溝等の改修工事やそれに伴う道路等の復旧経費を予算化している。※污水管等を埋設する際に、側溝(水路)等が支障となり、整備の必要のあるものについては下水道会計で負担している。	今年度見直し事項	
事業目的	下水道の整備に伴い、老朽化した側溝などの改修工事などを行うことにより、雨水を排除し、道路の冠水や建物の浸水を防ぐ。		
現状と背景	下水道整備済み区域が拡大したことにより、側溝などの機能は改善されてきている。しかし、下水道の普及率は平成24年度末で55.0%であり、老朽化した側溝等が市内にはたくさん残っているため、早期の整備が望まれている。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	中海護岸整備関連事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	97,895	64,581		64,449			64,449	▲ 33,446
財 源 内 訳	国	52,250	33,550	33,550			33,550	▲ 18,700
	県							
	市債	38,400		24,700			24,700	▲ 13,700
	その他							
	一般財源	7,245	31,031	6,199			6,199	▲ 1,046

事業概要	国土交通省が進める斐伊川水系治水事業に伴う 中海護岸整備事業において、渡漁港周辺の市道新設・改良事業、及び内水排除施設整備事業を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	渡漁港の背後にある住宅地域の地盤高は、中海の計画高水位より低く、これまで高潮の被害に見舞われてきた。今回、斐伊川治水事業として護岸整備がなされることで、外水(高潮)からの被害は防止できるが、同時に発生する課題として内水排除対策がある。本事業の目的は、この内水排除のための水路整備と、この地域は住居が密集しているながら防災避難道路や防災広場が近隣に不足していることから、これらを総合的に整備する。		
現状と背景	これまでこの地域では、高潮が発生する度に水位上昇と内水排除不全のために浸水被害の危険にさらされて来た。その度に仮設ポンプを設置し24時間の排水処理を余儀なくされ、職員も昼夜対応に追われてきた。今回、総合的な防災対策事業を実施することにより、常に安定した防災対応が可能となる。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	道路整備等基金(整備事業)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		57,000		57,000			57,000	57,000
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他			57,000			57,000	57,000
一般財源		57,000						

事業概要	平成23年度に積立てた道路整備等基金を活用し道路整備を行うものである。	今年度 見直し 事項	
事業目的	多額の費用を要する幹線道路等の整備を行うことにより、交通環境の改善を図るものである。		
現状と背景	平成23年4月の交付金交付要綱の一部改正により基金造成が可能になったこと、航空輸送機C2配備により、平成23年度から調整交付金が特別額として増額されたことにより、平成24年度3月に境港市道路整備等基金を設置し大規模な道路整備事業に基金を活用するものである。今後の基金の造成及び活用については、調整交付金の配分額と生活関連道路整備事業との調整を図り有効的に幹線道路等の整備事業を行っていくものである。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	内浜地区内水対策事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		36,748		36,748			36,748	36,748
財 源 内 訳	国	27,500		27,500			27,500	27,500
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		9,248		9,248			9,248

事業概要	外江地区と西工業団地を中心に、内水対策整備を行う。財源は、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用する。	今年度見直し事項	
事業目的	外江地区は特に老朽化した雨水側溝の面整備を行い、西工業団地は排水系統の見直しに伴い新たな計画に合わせた整備を行う。		
現状と背景	外江地区は、側溝の老朽化が顕著であり、排水不良による道路の冠水や側溝の損傷が多数存在している。また、海岸周辺においては、高潮時に外水の影響を受けることから、そのことも含めた対策が必要である。西工業団地の貯木場は、平成22年度に示された斐伊川河川整備計画の短期整備箇所位置付けられており、平成25年度から護岸整備が行われ締め切られることから、現在の排水系統の見直す必要が生じたものである。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	水木しげるロードリニューアル事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		15,173		15,173			15,173	15,173
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		15,173		15,173		15,173	15,173

事業概要	歩道のバリアフリー化を含めて、ロード全体の景観性、シンボル性に配慮した整備を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	水木しげるロードもオープンから17年が経過し、観光名所として定着しつつある中で、より快適なロードを目指すためのバリアフリー化や環境の質を高める景観デザインの検討が求められており、今回、水木しげるロードフレッシュ整備事業を立ち上げるものである。		
現状と背景	水木しげるロードは、漫画家「水木しげる」が描いた妖怪ブロンズ像を境港駅から本町アーケードまで全長800mの間に設置した商店街通りである。当初H5年にブロンズ像23体の設置によりオープンしH9年には80体が完成した。現在H25年は153体が設置されている。オープン当初は2万人程度であった観光客もH9年には38万人と上がり、以降も「ゲゲゲの女房」がテレビ放映されるなどで、350万人に達し、取組みは商店街、地域活性化モデルケースとして注目されている。	その他	